

6月定例会 6/14～16

補正予算、議会採決結果……………	02
請願、委員会レポート……………	03～04
一般質問 町政を問う……………	05～09
町民登場 この人に会いました……………	10



愛のおせちを届けます

沖ノ原遺跡の複式炉

津南町議会

検索



町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

平成29年第2回議会定例会が6月14日から16日まで開催されました。8人が一般質問に立ち、農業委員会委員任命は全員を同意しました。町職員育児休業等条例改正など、工事請負契約、補正予算について審議を行ない、提出議案は賛成多数で可決しました。請願1件、議員発議による意見書1件を可決し、閉会しました。

平成29年第2回定例議会

主な補正予算

一般会計

補正額	2831万円
総額	69億9491万円
主な内容	
ふるさと支援まちづくり基金	
繰入金増	1047万円
前年度繰越金増	1190万円
十日町高校松之山分校スクールバス負担金増	167万円
地域おこし協力隊増員分報酬増	183万円
コミュニティ助成事業補助金	250万円
学童保育施設改築工事	422万円
健康増進事業 マイクロバス購入費補助	318万円
ふるさとものづくり支援事業補助金	381万円

特別会計

秋山郷二次交通事業委託料	100万円
生活道路消雪施設事業補助金増	196万円
国民健康保険特別会計	
補正額	32万円
総額	12億5818万円
前期高齢者関係拠出金増額	
介護保険特別会計	
補正額	35万円
総額	19億187万円
第1号被保険者保険料還付金増	
後期高齢者医療特別会計	
補正額	16万円
総額	1億1334万円
過誤納保険料還付金増	
津南病院事業会計	
補正額	341万円
受変電設備改修工事増	
神経伝導検査装置増	
患者情報IDシステム増	

平成29年6月 議会採決結果

議案番号	件名	表決状況													採決結果
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	恩田稔	桑原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	藤ノ木浩子	吉野徹	桑原悠	
同意第3号～第20号	津南町農業委員会委員任命の同意について	同意を求められた18名の方全員を農業委員会委員として同意致しました。同意を得た方々は、人事欄にてご紹介しています。													
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第35号	津南町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第36号	津南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第37号	津南町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第38号	財産の取得について(ロータリ除雪車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第39号	平成29年度津南町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第40号	平成29年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第41号	平成29年度津南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第42号	平成29年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第43号	平成29年度津南町病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第44号	工事請負契約の締結について(津南小学校増築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法(可＝賛成多数で可決等の場合：否＝賛成少数で否決等の場合)

●表決状況の記載方法(議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除：議長は表決に参加できません)

請願・発議案

請願

30人以下学級実現、義務教育費
国庫負担制度2分の1復元に係る
意見書の採決を求める請願

子どもたちが全国どこに住んでい
ても教育の機会均等が担保され、義務
教育水準が維持・向上されるように
次の2点が実現することを要望する。

① OECD 諸国並みの豊かな教育
環境を整備するため、30人以下
学級とすること。

② 教育の機会均等と水準の維持・
向上を図るため、義務教育費国
庫負担制度の国庫負担割合を2
分の1に復元すること。(全員賛成)

発議案

国政選挙における選挙区定数等
の見直しに関する意見書の提出に
ついて

国政選挙における選挙区定数等
について、地方公共団体や国民の声
を聞きながら十分な議論を行い、衆
参両議院のあり方を含め抜本的な選
挙制度改革を行うことを求めるた
め、意見書を提出する。(賛成多数)

2件は採択され意見書を国に提出
します。

人事

人権擁護委員候補者の推薦につい
て同意しました



高橋 芳子氏
(十二ノ木)

平成20年より人権擁護委員

任命された農業委員会委員

選出方法が議会の同意を要件と
する町長の任命制となりました。

石澤春義氏(上野)	根津秀人氏(石坂)
内山光子氏(谷内)	樋口則郎氏(船山)
桑原京子氏(十二ノ木)	藤木正光氏(米原)
桑原幸枝氏(貝坂)	藤ノ木敬一郎氏(天田新田)
島田福一氏(富野原)	藤ノ木稔氏(宝平)
滝沢芳則氏(赤沢)	村山道明氏(割野)
中澤繁夫氏(上段)	八重沢敏明氏(亀岡)
中村敬二氏(富野原)	涌井 直氏(相言)
中山國廣氏(外丸)	涌井益夫氏(穴山)

(五十音順)

委員会レポート

総文福祉常任委員会

民生児童委員との懇談会

とき 4月19日(水)

ところ 役場大会議室

内 容 町民の最も身近で各種相
談にに応じている民生委員と懇談し
課題を共有して、今後の町づくり
に活かすことを目的に行いまし
た。

主な内容は、

- ① 近年発達障害が増えているが、
教育段階からの専門的な取り組
みが必要ではないか。
- ② 障害者の地域移行が進められて
いるが、家族の負担が増すので
はないか。
- ③ 保育園の統合に伴い新しい保育
園構想の進捗状況は。
- ④ 学童保育が総合センター(津南
小学校区)で実施されているが、
手狭になってきている。
- ⑤ 国道沿いのごみステーションを
両側に設置できないか。
- ⑥ 病院通りが狭く歩行者には非常

懇談を終えて

に危険である。路側帯に3本ある
電柱を1本にまとめることができ
ないか。

生活に密着した課題が挙げら
れ、民生児童委員の日常的な活動
に敬意を表し、今後の議員活動で
取り組んでまいります。

(担当 石田タマエ)



道幅が狭く歩行者に危険な病院の通り

産業建設常任委員会

平成28年度所管事業成果巡視

とき 4月25日(火)

ところ 町内各所

内容 前年度に執行された建設課・地域振興課の事業成果視察を行いました。

①町営住宅美雪町1棟が完成し、4世帯共同住宅で1階は鉄骨造り、2階木造建築でした。これでA棟からI棟まで36戸が完了しました。

②反里赤沢線の改良舗装工事と、陣場下農道拡幅が整備されました。

③石坂トンネル手前の復旧工事は、ネットフェンスを撤去し設置しました。

④人参洗浄選別施設(赤沢)では自動計量器包装ラインを導入し、販売体制の強化とコスト削減を図ります。

⑤グリーンアース津南(貝坂)は精米プラント導入で新たな雇用と販売の拡大を図ります。

⑥コントラクター津南(中子)は、防除用無人ヘリコプターを導入

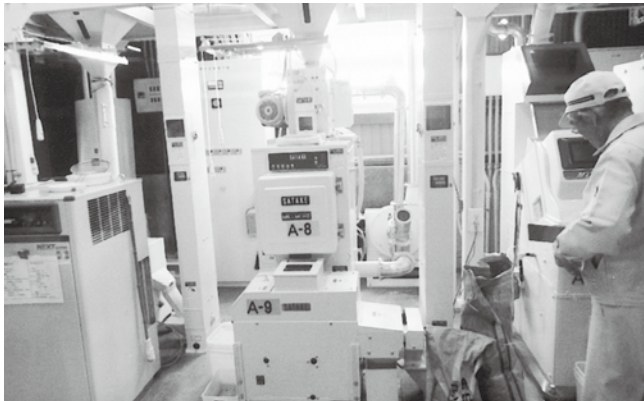
し、労務費のコスト削減と規模拡大に取り組めます。

巡視を終えて

町営住宅は消雪パイプが整備され、冬場も安心です。

今回、新たな大型農業機械が導入され、津南の農業が若者と共に更に発展することを期待します。

(担当 桑原洋子)



精米プラント(グリーンアース津南)

津南町農業改良会議並びに津南町経営・生産対策推進協議会

とき 4月27日(木)

ところ 役場大会議室

内容 ①町地域振興課農林班関係では、本年度予算と事業概要。

②十日町農業普及指導センターでは、農業ビジョン、活動方針等。

③新潟県高冷地農業技術センターでは、試験研究方針として複合営農の推進。

④県妙法育成牧場では、預託状況や放牧概要。

⑤魚沼農業共済組合では、引受計画と実施方策、損害評価の適正化方策、損害防止事業の実施方策。

⑥津南郷土地改良区では、維持管理事業地区の概要。

⑦津南町農業協同組合では、営農指導・販売事業、購買事業、利用・加工事業、農産物検査事業等。平成29年度、各事業計画の概要を受け意見交換をしました。

懇談を終えて

人口減少と高齢化で後継者不足になり、一番に影響が出るのが農業かと思われます。これからはICT農法(情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称)と言われますが、全ての農業に当てはまるとは思えません。小規模農家では労力やノウハウも少なくコスト負担も心配です。

(担当 中山 弘)



アスパラガスの収穫作業

ズバリ 町政を問う!!?

一般質問 (8議員)

1

半戸 義昭 議員 (5ページ)

1. 津南町は住みやすい町か
2. 格差と教育への考えは

2

中山 弘 議員 (6ページ)

1. 津南病院の看護師確保への取り組みは
2. 宮中取水ダム発電所計画の影響は

3

大平 謙一 議員 (6ページ)

1. 町公共施設管理計画のその後は
2. 減反政策見直し後の対策は

4

藤ノ木浩子 議員 (7ページ)

1. 国民健康保険の都道府県単位化で改善するのか

5

桑原 洋子 議員 (7ページ)

1. 自治体病院の役割、津南病院の改善は

6

石田タマエ 議員 (8ページ)

1. 認知症初期の具体的施策は

7

村山 道明 議員 (8ページ)

1. 米生産調整廃止に伴う方針は
2. アレルギー体質児童への給食対応は

8

吉 野 徹 議員 (9ページ)

1. 小集落との関わりは
2. 町観光への取り組みは

—Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!—

津南は住みやすい町か

町長 農村暮らしを希望する都市住民と全国の地方自治体をマッチングする「ふるさと回帰支援センター」による移住希望地域アンケートでは、一位が山梨県、二位が長野県、新潟県は八位である。治安のよさ、生活コストの安さ、交通機関の確保、人間関係に不安のないこと、自然の豊かさなどを重視する人が多いという結果になっている。まずは、そこに住む人が津南の地を好きになっていただき、移住希望者の目を津南町に向けてもらうことが何より大切と考える。

問 地域を様々の角度から評価するランキングがあるが津南は高いほうではない。住みたい、住み続けたいと思っただけのような町にするには今、何をすべきか問う。

住みやすく住み続けたい町にするには何が必要か



半戸 義昭 議員



津南町に住み続けたい

問 格差社会が問題視され、教育現場でもさまざまな問題点が指摘されるなか、最優先に幼児教育の無償化と言われているが考えはあるか。

教育長 平等に教育の機会を与えることは何より大事と考える。現在、保育料収入は年間約5千万円で貴重な自主財源となっており、無償にした場合新たな財源が必要になる。当町では、子育て支援を重要な施策として位置づけており、財源が許す限り必要な施策を講じていく。

どの子にも教育の機会を平等に

津南病院の医師、看護師確保は



中山 弘 議員

経営悪化の一因に 看護師不足があるが

問 経営悪化の一因に医師不足と看護師不足が挙げられているが、人材確保の具体案を問う。

町長 経営悪化の要因は医師、看護師不足もあるが、人口減少や医療環境の変化で患者数の減少も大きな理由である。医師は東京慈恵会医科大学から派遣をお願いしている。看護師確保では県内トップクラスの奨学金制度を実施しており、家計の支援になっている。また県に対して県立十日町病院に併設が予定されている看護専門学校開校を要望している。

宮中取水ダムの水力 発電所計画について

問 十日町市は宮中取水ダムの放流水を利用し維持流量発

電所の計画があるが、上流である町への影響を考えているか。

町長 計画段階であるが、魚介類の影響や環境に負荷を与えないなかで、減水区間を生まないルート検討など有効活用方策を構想していると推察している。

問 長野県で鮭稚魚放流計画があるようだ。減水区間の津南町のあり方は。

町長 東京電力西大滝ダム下流の減水区間において、長野県は独自調査として鮭遡上降下が可能か否かの環境調査をしている。津南町は信濃川上流域域河川整備計画に掲げた事業の推進を県と連携して進めたい。



整備河川（中津川）

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

公共施設管理の問題点は人口減少と財源不足



大平 謙一 議員

施設管理の問題点は

問 町の管理する公共施設は191施設ある。人口減少が続くなかで管理の財源不足は明らかである。平成52年の人口予測は6670人で、平成27年度に比べ3359人減少すると試算をされている。人口構成は生産年齢人口が減少し、税収が減少することにより、当然財源不足が起こる。現在の施設は整理・統合が必要である。施設の見極め、または3セクに近い施設は廃止も考えるべきだろうか。

町長 計画では耐用年数経過後、同じ規模で更新すると40年間で303億円の財源不足が見込まれる。必要な施設かどうか検討し統合や廃止は、利用度や劣化状況に応じて方針を定める。経営が芳しくない施設は内容をみて考える。竜神の館は地域として活用で

きる位置付けをもつと地域で考えてもらいたい。宝山荘は提案をいただいているが具体化はしていない。

過剰米対策は進んでいるか

問 国の減反政策が変わる。過剰米対策は全国で同一歩調が必要だ。また米価下落へのセーフティネットは。

町長 JA全農がカギを握っている。TPPはなくなったがFTAでどのような結果になるか不明である。米価下落対策は認定農業者にナラシ対策がある。現在、国で審議している収入保険制度が創設される予定である。



閉校となった旧外丸小学校

国民健康保険の都道府県単位化を問う

国保の構造的矛盾が改善されるのか



藤ノ木 浩子 議員

問 国保加入者は、無職や非正規労働者などの低所得者が多く、約8割を占めている。さらに国保料が高いという構造的矛盾が深刻となっている。安倍政権は、医療費削減を目的に、国保の都道府県単位化を進めている。国保料はどうなるのか。国は公費を投入するが、一方で市町村独自の一般会計の繰り入れを解消させる方向だ。国保は改善されるのか。

町長 平成30年度から県と市町村とともに保険者として役割分担し事業運営を行うことになっている。今改正は、国保制度の安定化が最大の目的で、国による財政支援が行われるものと認識している。

問 市町村独自の一般会計からの繰り入れを締めさせる方

向では、高すぎる保険料がさらに引き上げとなるのでは。

町長 国の進め方をすぐやれということではなく、安定した国保へ努力をすることが趣旨と思う。わが町の加入者一人当たりの公費補てんはトップクラス、保険料も県下最低ラインであり、そこに国、県のストックを活用でき、ダブルにセーフティーネットが働くことになる。

問 今後も、一般会計からの繰り入れも実施できるという理解でよいのか。

町長 従来通り適切な考えで判断していきたい。



医療費削減のために検診の受診を

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

自治体病院の役割と住民の願いは

経営悪化で今後のあり方どうする



栗原 洋子 議員

問 国の社会保障費削減で、地域医療が崩壊の危機に追い込まれているとの認識は。津南病院への町長の方針は町民の願いとかけ離れ、経営もますます悪化している。さらに今後の病院のあり方、運営方針、展望も語らず運営審議会に諮問、その審議会も非公開だ。今後病院をどう改善しようとしているのか。

町長 地域医療が厳しい状況にあると認識している。医療の提供を継続していくことが困難なほどの財政出動をしてきた。今後の持続可能な経営のあり方、診療体制のあり方についてその具体策を運営審議会に諮問し、答申していただく。それらを参考に病院の改革、改善を図っていきたい。

問 町民から「病院は一体ど

うなっているんだ」と、心配する声がある。なぜ病院だよりを出さないのか。

町長 広報つなん、広報無線などで情報提供をしている。発行する計画は持っていない。

問 魚沼医療圏では、「地域全体で一つの病院」という考え方でそれぞれの役割を担っている。自治体病院の役割と、魚沼医療圏の現状をどう認識しているか。また、病院運営に精通した専門家の配置が必要ではないか。

町長 信濃川筋との病院連携、基幹病院との連携、医療提供を持続して行う体制の整備が大事だと認識している。

病院に精通した人材ということも踏まえ、審議会の検討を待ち総合的に判断したい。



自治体病院の役割と連携が大事（十日町病院）

認知症初期の具体的な施策は

認知症予防及び初期の具体的な対策は



石田 タマエ 議員

問 全国で65歳以上の高齢者のうち、認知症高齢者が400万人を超えている。今後はさらにその割合が増えてくると想定される。当町でも平成29年度の重点施策に認知症対策が挙げられているが、具体策が見えない。特に、認知症初期で本人の自覚がない方々への対応に家族は苦慮しているが、その対応はないか。また、医療・介護サービスの関わりを持たない高齢者で認知症が疑われる方に対してどのような方法で把握するのか。健康診断時に一定年齢以上の方々への調査ができないか。

町長 認知症に対した的確な対策を講じることができると否かが今後の自治体運営に大きく影響すると認識する。初期の適切な対応により、進行

を食い止めることができるというデータもあるが、医療機関に繋げる手立てが難しい。今後、専門家が作成した認知症チェックリストを初期の対象者の選定につなぐことができないか検討したい。また、介護予防の各事業への男性の参加が少ないことが課題であり、現在津南病院のリハビリテーション科の協力を得ながら事業の内容を見直している。平成30年度から義務付けされる「認知症初期集中チーム」を立ち上げ、津南病院の協力を得ながら進めていきたい。



介護予防事業「いきいきサロン」

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

米生産数量の農家提示を止めるべきでは

特別栽培米「認証米」制度」拡充が必要



村山 道明 議員

問 県は、平成30年度産米の生産目標量を津南町に7051トンの「参考値」を提示し、前年度までのように農家ごとの目標を決めるかどうかは、市町村でつくる農業再生協議会に委ねるとしたが、従来通りの割当ては止めるべきではないか。また、過剰生産による値崩れの不安材料ばかりだ。特別栽培米生産を促すべきと考えるがどうか。

町長 今後、町地域農業再生協議会、集荷業者等で方向を決めていきたい。米価下落防止から集荷業者が販売可能な数量を生産者間で契約栽培すること、作付面積調整は必要と考える。また消費者、市場から高い評価を得ている町認証米の需要は期待できることから、生産者に啓発を考えている。

県内のコメ生産目標・参考値

市町村	2018年産参考値(A)	17年産目標(B)	AとBの差
南魚沼市	16613	19304.63	-13.9%
湯沢町	456	636.30	-28.3%
津南町	7051	5623.02	+25.4%
十日町市	14733	17184.46	-14.3%
長岡市	46011	59725.76	-23.0%
小千谷市	7992	9059.90	-11.8%
魚沼市	9178	10923.10	-16.0%
県合計	440000	510184.00	-13.8%

参考値には自家消費米、縁故米は含んでいません。(単位トン)

問 アレルギー体質児童の対応給食の安全を

教育長 現在注意を要する園児、小中学生は31名。子どもに対応する献立メニューを栄養士が考え、調理員に示している。より安心、安全な美味しい給食を提供していきたいと考えている。

問 アレルギー体質の児童が増えている。保育園、学校給食対応に調理員、栄養士、保護者との意思疎通と信頼を築くことが大切であると考えているがどうか。

アレルギー体質児童の対応給食の安全を

小集落との関わりについて

限界集落の納税問題と集落維持は



吉野 徹 議員

問 限界集落における集落所有の雑種地や山林などの固定資産税の支払いがでなくなった場合、町の対応は。また、そのような小集落の維持管理は。

町長 納税は義務付けられており、仮に権利放棄された場合、最終的に相続者がいなくなった場合には国庫に帰属すると思われる。また、それらの土地の管理については、方策が定まっていなく、今後の課題である。

問 平成29年度町の重点課題である子育て支援策について、県予算では企業との協働構築事業とあるが、町はどうか。

町長 県では、男性の育児休業や労働者への支援、子育てしやすい施策、さらに金融機関との協調のなかで優遇制度



少子高齢化が進む集落

などの支援策を進めており、町民に積極的に情報発信を行う。

問 県では様々な観光予算が計上され、各自治体での着地型観光、スキー観光、広域周遊ルートなどの施策が進められているが、町の誘客の取り組みの経過は。

町長 各種イベントを充実させ誘客を図る。苗場山麓ジオパークの関連でニュー・グリーンピア津南に展望台設置や、町内観光施設にWiFiを整備したので活かしていきたい。また、補正予算で栄村と共同で秋山郷二次交通事業を進めたい。今後も、観光関係者とさらに連携し進めていく。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

お宝再発掘 「沖ノ原遺跡」

昭和47・48年、国営総合農地開発事業に伴い、慶応大学の江坂輝弥先生による発掘調査が行われ、火焰型土器やクッキー状炭化物など、多くの堅穴住居が見つかり、縄文時代の集落跡として全国に紹介されました。

今年度、文化庁の指導を受け、現在の技術による記録作業を行うため、第1号住居跡の再発掘を行いました。今後5年計画で範囲内の調査を行います。

沖ノ原遺跡は、およそ5000年前から4500年前の500年ほど続いた縄文時代中期の集落遺跡です。100軒以上の堅穴式住居が発見され、火焰型土器などの縄文土器や石器、土偶、クッキー状炭化物と呼ばれる木の実を粉にして焼いたクッキー状のものが炭になった状態で出土しています。

集落の中央には広場があり、そこでは夏至の日に、夕日が山伏山

に沈むことがわかりました。当時の人々が太陽の動きを観察していた可能性もうかがえます。

第1号住居は、今から4500年前の沖ノ原式土器が出土し、石と土器を組み合わせた炉は複式炉と呼ばれる意匠に凝ったものです。精巧な作りが時の人々の心象に迫るものを感じさせてくれます。

45年振りに姿を見せた沖ノ原遺跡を目の当たりにして、現代人が直面している様々な課題がある中で、古を学ぶ意義は極めて大きいと感じることができました。



石と土器を組み合わせた「複式炉」



町民登場

この人に会いました…

清水伸忠さん(大割野)

私の想う町

津南町に婿に来て4年が経ち、此処の暮らしにも大分慣れてきました。暮らしで思ったことは、とにかく良い印象の人が多く、出会った人は皆優しいです。ね。「私はこの町に婿に来ました」と話すと、皆さんは「ありがとうね」と言っていて喜んできます。職場で、方言がわからず困っている、とおばあちゃん達は笑って、おばあちゃん達は笑って

てこっそり「それはね」と意味を教えてください。その言葉に優しさを感じ嬉しう気持ちになりました。雪があまり降らない地域で生まれ育った私には、この地は豪雪で寒さもきつて厳しい環境ですが地域の方、職場の皆さん、家族のおかげで楽しく過ごさせて頂いています。水やお米など食べ物がいしく、初めて雪下人參を食べた時はその美味さに驚きました。雪



まつりりのスカイランタンの感動や津南町の良さを色々な人に知ってもらい、少しでも人口が増え将来優しい人がたくさん住む素敵な町であって欲しいと願っています。

第3回定例会は9月7日(木)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。

編集(方言)後記

微妙な時期も、そろっと終りかな？ 居間にあるのはストーブと扇風機だ。新緑に萌え残雪を横目に汗だくで山菜採取、田植えもなからになり中干しもちらほら、今朝は寒くて目が覚めた。町のあちこちに色鮮やかな花が目を楽しませてくれるが、「ぼんぼこ庭」(津南駅裏)のひまわりは芽を覚まさない。原因は分っているが鳥や天候にかすけたくない。これからはじまる日本独特の「梅雨」は少し心を閉じ、大きく植物を育む。なんと素晴らしい国だろう。「けつとの灯影」がかわり、かんかん照りにすくと立つ「ひまわり」を待つ。(中山)



結束の石垣田